

## 庁舎機能のあり方について



佐々木大三郎 議員  
(清風会)

能のあり方を語る市民懇話会」を設置した。

**問** 庁舎分散により職員の仕事効率とモチベーションは低下しないか。

**答** このことは庁舎分散の問題ではなく、全職員が業務に対する目標や課題を共有することが重要であると考えている。

**問** 庁舎分散によって庁舎の維持管理費や人件費等に多額の浪費が生じないか。

**答** 庁舎の維持管理費（庁舎賃貸料・光熱水費・通信費など）の総額は約1億1,500万円であるが、経費の縮減について厳しく対応してきたところであり、今後もエコオフィス等の取り組みを継続し、経費節減に努めて行く。また、庁舎のメ

ンテナンス費用は23年度実績で約2,100万円であり、人件費の増加は6月市議会定例会の例では庁舎間移動に要した費用の試算結果では約43万円になる。

**問** 行政機能の移転により「とぴあ」の商業施設としての機能は低下しないか。

**答** 「とぴあ」の過去5年間の推移を見ると、平成22年度までは、来客数、売上額とも減少傾向で推移してきたが、平成23年度実績では客数126万6千人（前年比3・0%増）、売上額19億3,900万円（前年比8・5%増）と前年度実績を上回っている。

**問** 中心市街地内の多数庁舎を有効活用すべきでないか。

**答** 中心市街地のインフラ整備をはじめ、総合的な施設活用に係る調査等も実施し、施設の有効活用を推進する計画である。

**問** 庁舎分散による経費増加と市民サービスの低下を

考えた場合、本庁舎新築による分散庁舎の統合を検討すべきでないか。

**答** 現在の分散庁舎のトータルコストを検証し、集約化した場合との比較検討をし、それらの結果を基にして懇話会の課題の一つと認識し、ご意見やご提言を求めていく。

**答** 市民サービスを含め、庁舎分散化のメリット・デメリットなど現状分析を行った上で、今後の庁舎機能のあるべき姿について市民から具体的な提言をいただくことを目的に「庁舎機



あすもあ遠野（まちおこしセンター）